

## 添付資料

### 土壤汚染調査結果

#### 1. 土壤汚染調査について

東邦エンジニアリングは、旧工場に設置されていた特定有害物質（ふっ酸）使用施設の撤去に際し、土壤汚染対策法に基づき、旧工場敷地の土壤調査を実施しました。

#### 2. 土壤汚染調査結果について

土壤汚染調査の結果、複数地点で基準値を超えるふっ素が検出されました。濃度は最大で 3.8mg/L（基準値：0.8mg/L 以下、注1参照）でした。

また、基準値を超過した全ての地点において深度調査を実施しました結果、一部の地点で深さ最大 3.0m まで汚染していることを確認しました。（添付表1参照）

#### 3. 地下水の調査分析結果について

土壤調査範囲の地下水について水質調査を実施しましたところ、ふっ素の濃度は基準（0.8mg/L 以下、注1参照）を下回っていました。（添付表2参照）

#### 4. 土壤汚染の原因について

今回の土壤汚染調査の結果、廃液中和施設（使用後のふっ酸を中和無害化する施設）の近辺の濃度が最大となっていることから、ふっ酸廃液の中和処理作業の際に何らかの理由で漏洩し、土壤を汚染したものと考えられます。

#### （注1）基準値の設定根拠

70年間、1日2Lの地下水を飲用することを想定し、地下水の環境基準や水道水の水質基準と同様の考え方により設定された基準値。

**表1. 汚染超過の概要**

基準超過物質	基準超過濃度範囲	基準超過深度	基準値	基準超過数/調査数
ふっ素 （※土壤溶出量）	0.85mg/L ～3.8mg/L	地表面 ～3.0m	0.8mg/L	11/26

※土壤溶出量（mg/L）とは、検液1Lにつき溶出した対象物質の量（mg）を示します。

**表2. 地下水測定結果**

対象物質	分析値	基準値	調査数
ふっ素 （地下水質基準）	0.10mg/L ～0.37mg/L	0.8mg/L	3